



高山村は昔ながらの農山村の雰囲気の色濃く残っており、室町時代から続く伝統芸能、江戸時代の宿場町、豊かな里山、美しい景観など、多くの自然資源があります。

農業を主要産業としてきた村では、代々受け継がれてきた田畑において、米、枝豆、そば、こんにゃく、さつまいもなど、さまざまな農産物が栽培されてきました。

こうした村の農業を支えてきた農家も高齢化により経営規模の縮小や遊休農地の増加が目立つようになり、豊かな里山の維持が難しくなりつつあります。

一方で、農業体験により農業に興味を持つ人や就農希望者が増えており、特に有機農業での研修受け入れが多くなっています。研修を終えた方たちが新たな担い手として活躍されることを期待しています。

また、村の学校給食では地産地消の一環として、有機農産物を取り入れています。次世代を担う子どもたちに「食」を通じて、有機農業が環境にやさしい、持続可能な農業であることを伝え、村全体で有機農業を推進し、村の豊かな里山を次世代へとつなげるため、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和6年2月23日

高山村長 後藤幸三